

第1回 ピース・アーチ・ひろしまプロジェクト実行委員会 議事録

1 日 時 平成28年3月25日(金) 14:00~14:50

2 場 所 県庁北館2階第一会議室

3 出席者

委 員 湯崎委員, 小西委員(代理), 深山委員, 金田委員, 内山委員(代理)
森信委員, 高見委員, 松尾委員, 加藤委員(代理)

事務局 県民生活部 坂井部長

文化芸術課 江原課長, 宮本参事, 中下主幹, 山田主査, 平澤主任, 中野主事

4 議事内容

(司会) お待たせいたしました。定刻となりましたので、ただ今から「第1回ピース・アーチ・ひろしまプロジェクト実行委員会」を開会いたします。私は、本日の進行役を務めさせていただきます、広島県環境県民局県民生活部長の坂井でございます。よろしくお願いいたします。

ピース・アーチ・ひろしまプロジェクトは、世界共通の言語である音楽を通じて、広島から世界に平和のメッセージを発信するコンサートを開催するとともに、平和貢献活動を持続的に支援できる仕組みを構築するためのものです。本日は、プロジェクトの「ひろしま平和発信コンサート」について御審議いただきます。

それでは、開会にあたりまして、湯崎知事から、一言御挨拶を申し上げます。

(知事) 本日は、大変お忙しい中、第1回ピース・アーチ・ひろしまプロジェクト実行委員会に御出席いただき、誠にありがとうございます。本委員会の開会に当たり、一言、御挨拶申し上げます。

人類初の原爆による破壊から復興した本県は、世界平和への取組を推進し、世界平和の実現のための拠点として、国際平和に貢献していく使命があると考えています。

そのためには、「広島から世界へ平和のメッセージを発信すること」「平和貢献活動を持続的に支援する仕組みを構築すること」が必要であり、その手段として、本日お集まりいただいた皆様と連携しながら、世界共通の言語である音楽によるコンサートを開催したいと考えています。

前回の平成23年度から平成25年度にかけて実施したプロジェクトにつきましては、来場者数や事業収益が目標を下回ったものの、コンサートに来場くださった方からは、参加アーティストによる平和への熱い思いが伝わり、音楽の持つ力強さを感じられる素晴らしい内容であったと高く評価していただくなど、意義ある内容となりました。

今回のプロジェクトにおきましては、コンサートに特化することとし、国内外の著名なアーティストだけでなく、地元広島で活躍するアーティストにも御参加いただき、広島から世界へ平和のメッセージが強く発信できるコンサートを開催したいと考えております。

本日は、その事業計画や収支予算などについて御審議いただき、大変重要な会議でございます。皆様どうぞ御忌憚のない意見をよろしくお願いいたします。

(司会) 続きまして、本日ご出席いただいている皆様をご紹介させていただきます。代理の方を含めまして、全員がご出席されております。

広島市長の松井様でございますが、所用のため遅れて参加することとなっております。市長がお

越しになるまでの間、小西市民局文化スポーツ部長に代理出席していただいております。

広島商工会議所深山英樹（ふかやまひでき）会頭、公益社団法人広島交響楽協会 金田幸三（かねだこうぞう）理事長、中国経済連合会内山誠一（うちやませいいち）専務理事、広島経済同友会森信秀樹（もりのぶひでき）代表幹事、一般社団法人広島青年会議所高見仁（たかみじん）理事長、東京広島県人会松尾康二（まつお こうじ）副会長、公益財団法人ひろしま文化振興財団の池田理事長でございますが、所用のため遅れて参加することになっております。理事長がお越しになるまでの間、加藤常務理事に代理出席していただいております。最後に、広島県湯崎英彦（ゆざきひでひこ）知事、以上の皆様にご出席いただいております。

次に本日の配布資料を確認させていただきます。次第、資料1、資料2、資料3-1、資料3-2、資料4、資料5、資料6となっております。全てお手元にご覧いただけますでしょうか？

それでは、議題に入ります。第1号議案「ピース・アーチ・ひろしまプロジェクト実行委員会設置要綱（案）及び実行委員会事務局運営規程（案）」について、事務局から説明いたします。

（事務局）それでは資料3-1を御覧ください。まず、「ピース・アーチ・ひろしまプロジェクト実行委員会設置要綱（案）」について、御説明申し上げます。第2条にありますように、本実行委員会は、本年に開催する「ひろしま平和発信コンサート」の企画、準備、運営を円滑に行うことを目的として、設置するものであり、実行委員会が行う事業について、第3条に整理しております。役員につきましては、第5条から第6条で整理しておりますが、県としては、このプロジェクトについて、委員の皆様のお力添えをいただきながら、責任を持って遂行して参りたいと考えております。このため、本委員会の会長は第5条第2項にご覧のように私どもの湯崎にお任せいただきたいというお願いでございます。また、副会長及び監事につきましては、後程、第2号議案として、選任していただきたいと考えております。その他、第10条には、実行委員会の議決事項、評決などについて整理しております。続きまして、資料3-2を御覧ください。「ピース・アーチ・ひろしまプロジェクト実行委員会事務局運営規定」でございます。これは、事務局の決裁規程や文書事務、財務管理などについて、本県の事務処理規定に準じて作成しているものでございます。説明は以上です。

（司会）ただいま説明いたしました実行委員会設置要綱（案）及び事務局運営規程（案）について御質問・御意見等はございますか。何もないようでございますので、「実行委員会設置要綱（案）」及び「事務局運営規程（案）」について、承認してよろしいでしょうか。

（委員一同）異議なし

（司会）ありがとうございます。それでは、本委員会の正式な設立をもちまして、これからの議事進行は、「実行委員会設置要綱」第5条第2項の規定により会長の湯崎知事をお願いしたいと思います。

（議長）それでは、本日の議長を務めさせていただきます。よろしく申し上げます。それでは、第2号議案の「副会長及び監事の選任について」お諮りしたいと思います。設置要綱第5条及び第6条の規定により、副会長、また監事について、委員の互選により選任することとなっております。まず、副会長ですが、委員の皆様、どなたかご推薦等がありますでしょうか。ないようでしたら、私の方から僭越ながら推薦させていただきたいと思いますが、宜しいでしょうか。

（委員一同）異議なし

（議長）それでは、副会長には、このコンサートのメイン会場となる広島市の松井市長、そして、経済界を代表して広島商工会議所の深山会頭をお願いしたいと思います。如何でしょうか。

(委員一同) 異議なし

(議長) それでは、松井市長、深山会頭をお願いしたいと存じます。

次に、監事でございますが、先程と同様に、私の方から推薦させていただきたいと思いますが、宜しいでしょうか。

(委員一同) 異議なし

(議長) それでは、公益社団法人広島交響楽協会の金田理事長と、公益財団法人ひろしま文化振興財団の池田理事長をお願いしたいと思いますが、如何でしょうか。

(委員一同) 異議なし

(議長) それでは、金田理事長、池田理事長をお願いしたいと存じます。

続いて、第3号議案に移りたいと思います。議案の事業計画(案)及び収支予算(案)について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) それでは資料4を御覧ください。「「ピース・アーチ・ひろしま」プロジェクト実行委員会事業計画(案)及び収支予算(案)」について、御説明申し上げます。「ひろしま平和発信コンサート」の開催概要(案)であります。中ほどの図にありますように、本実行委員会主催コンサートといたしまして、「クラシック・コンサート」、「レクイエム・コンサート」、「地元アーティスト・コンサート」を開催するとともに、プロジェクトの趣旨に賛同して開催される地元音楽団体等主催のコンサートを「関連コンサート」と位置付け、コンサートの広報などを支援することとしております。

2ページをお開きください。まず、「クラシック・コンサート」であります。広島交響楽団と、「ポーランドの管弦楽団「シンフォニア・ヴァルソヴィア」や、昨年開催された「ショパン国際ピアノコンクール」で輝かしい成績を残した日本人ピアニスト「小林愛実(こばやしあいみ)」さんのほか、世界的に活躍されているオペラのソリストや、「東京オペラシンガーズ」が共演するコンサートを開催するものでございます。7月23日の15時から、広島文化学園HBGホールにおいて、開催することとしております。

なお、「東京オペラシンガーズ」の出演につきましては、松尾委員が理事長を務めておられます「NPO法人・音楽は平和を運ぶ」からの特別協賛として、出演していただいたものでございます。この場をお借りして御紹介させていただきます。

また、広島市内の医療機関において「東京オペラシンガーズ」のミニコンサートを開催するなど、「アウトリーチ」を実施する予定としております。

5ページをお開きください。「レクイエム・コンサート」であります。広島県出身のピアニスト「萩原麻未(はぎわらまみ)」さんが、被爆ピアノを奏でる無料のコンサートを開催するものでございます。8月22日の18時15分から、広島平和記念公園内の原爆ドーム前において、開催することとしております。

6ページをお開きください。「地元アーティスト・コンサート」であります。広島を拠点に活動するアーティストや「一般公募のアーティスト」、「エリザベト音楽大学の学生・教員」のほか、広島出身のアイドルとして活躍中の「まなみのりさ」さんや、広島を拠点に活躍中の「森本ケンタ」さんが出演するコンサートを開催するものでございます。8月20日の13時から、広島県民文化センターにおいて、開催することとしております。なお、出演者の一般公募につきましては、4月中旬から5月中旬までの間で募集を行い、5月下旬には出演者を決定する予定であり、選定は事務

局において行う予定としております。

8ページをお開きください。「関連コンサート」ではありますが、プロジェクトの趣旨に賛同して開催される、行政や市民団体、音楽団体、民間団体などが主催するコンサートを支援するものでございます。6月1日から8月31日までの間に開催されるコンサートを対象とし、本プロジェクトのホームページや広報誌への情報掲載などの支援を行うこととしております。

9ページを御覧ください。「広報活動」ではありますが、多言語に対応したプロジェクト特設ホームページの運用・管理やコンサート動画の配信などの「WEB広報」、「ポスター、チラシ等」の制作・掲出、新聞広告の掲出などの「マス広告」などを実施する予定としております。なお、このうち、「WEB広報」につきましては、今後、委員の皆様が所属される団体の方々に選定委員会を組織し、プロポーザルを実施の上で、委託業者を選定したいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

10ページをお開きください。「収支予算（案）」について、御説明申し上げます。収入につきましては、「チケット収入」について、832万円、チケット代に上乗せした「寄付金」について、115万円、文化庁による国庫「補助金」について、2,490万円、一般財団法人地域創造などからの「助成金」について、760万円、「実行委員会負担金」について、3,000万円、趣旨に賛同してくださる企業からの協賛金について、1,200万円を見込んでおり、合計8,397万円でございます。

これに対し、支出につきましては、コンサート開催経費について、4,731万円、広報関係費について、2,156万円、事務局費について、510万円、合計7,397万円であり、収入との差額1,000万円につきまして、平和貢献活動等の支援に活用したいと考えております。

なお、この収支予算に大きな変更が見込まれる場合には、改めて皆様に御説明し、補正予算を編成したいと考えておりますのでよろしくお願ひいたします。

説明は以上です。

(議長) ただいまの説明について御質問・御意見等はございますか。

(委員) この資料にあるプロジェクトコンサート以外にこのプロジェクトに入れてもらえるかどうか、ピース・アーチのシンボルマークを使わせてもらえるかどうか、そのような柔軟性はあるのでしょうか？

(議長) ピース・アーチのマークの使用については関連コンサートに位置付けられれば使用できます。

(委員) 前はピース・サポーターカードなど市民を巻き込む形が工夫されていたが、今回、それが無いのですか。

(事務局) ございません。

(委員) ないということであれば、大きな額は期待できないと思いますが、募金箱等を置いたらどうでしょうか？

(議長) 貴重なご意見ありがとうございます。これは今後広報活動の一環で検討していきたいと思っております。前回いろいろピースメッセージを書いてもらったりしたので、広報するという中では予算とのバランスを図りながら考えていきたいと思っております。

(議長) ご意見ありがとうございます。では、提案の通り、第3号議案を承認してよろしいでしょうか。

(委員一同) 異議なし

(議長) ありがとうございます。では、第3号議案を承認いたします。続いて、第4号議案に移りたいと思います。事務局から説明をお願いします。

(事務局) それでは資料5をご覧ください。「平和貢献活動等の支援(案)」について、ご説明申し上げます。

1の要旨にあるよう「ピース・アーチ・ひろしま」プロジェクトは、世界に平和メッセージを発信するとともに、平和貢献活動を持続的に支援できる仕組みを構築することを目的としております。

このため、本プロジェクトの収益金は、前回のプロジェクト同様、「平和貢献活動」や「平和をテーマとした文化芸術活動」の支援に活用したいと考えております。

2の支援内容にあるよう支援に当たっては、既存の公益法人のスキームを活用したいと考えており、3の寄付先の決定にあるよう寄付先につきましては、金額が決定した後に、実行委員会において決定したいと考えております。

なお、前回のプロジェクトの収益金につきましては、下の表にあるようNPO法人が行う平和貢献活動などに対する助成に活用されているところです。

説明は以上です。

(議長) ただいまの説明についてご質問・ご意見等ございますか。

(委員) 平和貢献活動の支援について、前回プロジェクトでは9対1の配分で、平和貢献活動に2700万円、文化振興活動に300万円だったのですが、今回1000万円の収益金が出るようなら地元の広島は平和をテーマにした文化芸術活動にせめてその半分は配分できないでしょうか。なぜなら地元の文化芸術、特に今、地方創生や中山間地域対策などが行われていますが、先般同友会でもそういう発言がありましたが、地元の消えゆく文化芸術についても支援ができるように、あらかじめ事務局のほうで公平に分配する方法を考えてほしい。以上のことを要望としてお伝えします。

(議長) 貴重なご意見ありがとうございます。現時点では承って、また改めて考えさせてもらいます。その他ご質問ございますか。

(委員) 支援内容について、文化芸術活動は範囲を広げていけたら。平和貢献活動については、やめろというわけではないですが、平和発信コンサートは、広島の中では一生懸命取り組んでいるが、広島の外にはあんまり出ていないんですね。外に出てほしい。それがコンサートだと。それが音楽だと。そう理解している。広島のクラシック音楽ということで、戦後最初に演奏された交響曲は「未成交響曲」。あのメロディーは印象的だった。私の父親がカルビーの創始者で当事者として主催した。広島の音楽のオーディエンスの質が横ばいになっている。私が希望するのは、経済人たちに音楽を聴いてほしい。理想主義的な考えの人たちに平和発信の音楽を聴いてほしい。平和貢献、健康対策や疾病対策もいいけれど、指導的な立場になる経済界や政界のひとたちにも音楽を聴いてほしい。

(議長) ありがとうございます。これもまた、今後収益を使っていくという段階で検討していくということでしょうか。では、第4号議案につきまして、承認してよろしいでしょうか。

(委員一同) 異議なし

(議長) ありがとうございます。続いて、第5号議案に移りたいと思います。事務局より説明をお願いします。

(事務局) それでは、資料6をご覧ください。表彰制度について、ご説明申し上げます。

世界共通の言語である「音楽」を通じて、広く国内外に最も「平和」を発信した音楽家を表彰するものであり、表彰を通じて、広島から世界への平和メッセージの発信を一層強化しようとするものでございます。

制度の概要といたしましては、広島県内で平和貢献に寄与する音楽活動を、前回のプロジェクト以降行った個人又は団体を対象とし、県内の市町や経済団体、文化振興に関係する公益財団法人からの推薦を受け、実行委員会委員の皆様の審査を経て決定したいと考えております。

なお、表彰につきましては、7月23日開催予定のクラシックコンサートの会場において、表彰上の授与を行いたいと考えておりますが、当日会場にお越しになれない場合には、事前に会長が表彰状を授与し、その模様をコンサート会場で紹介したいと考えております。

説明は以上です。

(議長) ただいまの説明についてご質問・ご意見等はございますか。

(委員一同) 異議なし

(議長) ありがとうございます。では、第5号議案を承認します。以上をもちまして議事については終了しました。本日、予定している議題は、以上でございますが、何か、ご意見・ご質問はございますか。

(委員) 前回の収益金を御寄付いただき実施している平和文化活動助成事業について少しご報告を申し上げます。我々財団に預けてもらっているお金を平和文化活動という範疇で助成する場合、一番判断で重要なのは、どういう事業が本当に平和を広める文化活動なのか、文化活動における平和のテーマ性とかアピールという部分を評価することで、一番苦勞するところでもあります。

それでもこの事業があるおかげで、今継続的に続いている事業、新しく企画する事業など、いわゆる音楽による平和の発信という形も含め、いろいろと事業展開をいただき、助成を行っております。

現在は、寄付金により3年間300万の予算で実施する方針ですが、今後期間限定でなくそういう所に焦点を充てた助成事業をやっていくことは、継続性の観点もありますので、大切だと事務局として実感しております。配分の話はいったん置いて、引き続き寄付金をいただいて財団として平和文化活動助成を継続的に行うことには意味があり、大変ありがたいと思います。

(議長) 貴重なご紹介ありがとうございます。他にご意見はありますか。

(委員) 広島交響楽団のほうもできるだけ外に対してアピールしていこうと思って、広島の外にも範疇を広く求めていきたいなと思っておりまして、秋山和慶さんの本を東京のほうから出版してもらって、共同通信社を通じて北陸・東北の新聞に記事が載るようになっていました。昨年アルゲリッチさんの演奏会をサントリーホールでやりまして、天皇陛下・皇后陛下もお越しいただいて、成功を収めることができ注目されました。アルゲリッチさんが平和ということに対してすごく賛同をいただいて、ポーランドのカトヴィツェにある大学の博士号を授与されたとき、スピーチの中で広島を取り上げられ、平和の街という切り口で説明していただき、こうしたキーパーソンが積極的に広島をアピールしてくれたところです。そしてお嬢さんのデュトアさんが平和運動家ということで、戦争を何が何でもやめようという活動をされておられるところです。別府でアルゲリッチさんの音楽祭があるのですが、アルゲリッチさんから広島交響楽団を呼びたいというお話をいただいております。一つの投げた石がだんだんと波紋を広げ素晴らしい動きになっているなと実感しております。

そして、政治家の県議会議員や市議会議員の方にもこちらからアプローチして、県議会議員の方々には特別鑑賞会員にかなりの方々になっていただいて、市議会議員の方々にも似たようなスキームで御案内し、御賛同されております。

(議長) ありがとうございます。平和活動の進展についてご協力いただいております。他にご意見ありますか。

(委員) 広島を音楽の街にしようという活動を我々NPO法人は行っていますが、総合的な文化を、例えば食の文化と音楽は非常に近いものがある。そういったことも取り組むというか、音楽に限定しないで総合的な文化活動を行ってほしい。

(議長) ありがとうございます。

(委員) 先ほどの話は大変良い話だと思います。ぜひこのプロジェクトを成功させて、より大きな広がりになるように、もっともっと広島のことを世界の皆さんにわかってもらえるような、プロジェクトになればいいと思います。

(議長) ありがとうございます。

(委員) 私どもも毎年平和に関する事業をさせていただいておりますけども、それが広島文化振興財団のおめがねにかなうようなものをしていきたいので、これからもよろしくお願いします。

(委員) 今回ここで出た意見については市長にも伝え、共有させていただきます。よろしく申し上げます。

(議長) ありがとうございます。内容につきましては貴重なご意見を承りました。そのために必要なこととして、市民を巻き込むということもご意見たまわり、今後とも事務局のほうで検討させていただいて、収益金の活用方法につきましては、また、委員会のほうで審議していきます。

それでは、これをもちまして、第1回目のピース・アーチ・ひろしまプロジェクト実行委員会を終了します。本日は皆様ありがとうございました。では、進行を事務局にもどします。

(司会) ありがとうございました。最後に事務局から次回の委員会の予定について説明いたします。

(事務局) 次回の委員会については、平成28年10月頃を予定しております。詳細な時間・場所等については、委員の皆さんに別途ご案内をさせていただきます。

(司会) 本日はお忙しい中お集まりいただき、ご議論いただきまして、ありがとうございました。これで第1回実行委員会を終了させていただきます。

以上